

はじめに

昨年度に引き続き、文部科学省事業「特別支援教育に関する実践研究充実事業(特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究)」の指定を受け、実践と研修、研究に取り組んできました。

この取組は、開校4年目を迎えて、本校の教育理念「喜びはともにあること」を目指した教育課程の一つの形をつくることでありました。また、京都府立特別支援学校の拠点校として36年前の養護学校義務制以来の京都府立特別支援学校の教育課程を振り返り、将来を展望した教育課程を考え、教育課程の改善に向けた試行的な取組であったと考えています。

この教育課程が、将来の生きがいある生活を展望しつつ、様々な分野の人達、たくさんの人達とつながり合い、支え合いながら学校生活よりも長い卒業後の人生をよりよく生きる子どもたちに生きる力をはぐくむものであることを今後の実践の中で検証していきたいと考えます。

本事業の取組は、教育課程の改善のみならず、本校の学校づくりのエネルギーでもありました。この事業に昨年度に引き続き本校の教育と本事業の取組に共感し、指導、助言をいただきました元愛媛大学教授の上岡一世先生、また特に肢体不自由児の教育に関わり指導、助言をいただきました筑波大学教授、筑波大学附属特別支援学校長の下山直人先生には、遠方より足を運んでいただき、実践への的確な指導、助言をいただき、また私達を励ましていただき、心から感謝申し上げます。

平成27年3月

校長 澤田 均